

(トップページ:<http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/> )

(三大石油会社の業績比較 <http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/ExxonShellBp.html> )

マイライブラリー:0218

(注)本稿は 2012 年 2 月 21 日から 23 日の 3 回にわたり「内外の石油情報を読み解く」に掲載したレポートをまとめたものです。

2012.2.23  
前田 高行

## 三大国際石油企業 2011 年度業績速報シリーズ

### IV. 三大国際石油企業の業績比較

シリーズ I、II、III で ExxonMobil、Shell 及び BP (いわゆるスーパーメジャー) 各社の業績を概観したが、シリーズ IV はこれら 3 社を横並びで比較してみた。(2007~2011 年各社業績比較一覧表 <http://members3.jcom.home.ne.jp/maeda1/1-D-4-93ExxonShellBp07-11.pdf> 参照)

#### 1. 2011 年の売上・利益・投資の比較

##### (1) 売上高

(図 <http://members3.jcom.home.ne.jp/maeda1/2-D-4-93fSuperMajorSales2011.pdf> 参照)

売上高が最も大きいのは ExxonMobil の 4,864 億ドルであり、次いでシェルが 4,702 億ドル、最も少ないのは BP の 3,755 億ドルである。BP の売上は ExxonMobil の 8 割弱である。

##### (2) 利益

(図 <http://members3.jcom.home.ne.jp/maeda1/2-D-4-93gSuperMajorProfit2011.pdf> 参照)

利益が最も多いのも ExxonMobil であり、同社の 2011 年 1-12 月の利益は 411 億ドルであった。これに次ぐのが Shell の 309 億ドルであり、BP の利益は 257 億ドルである。Shell の利益は ExxonMobil の 75%、また BP のそれは 63% であり、売上高(上記)に比べ利益の格差が大きい。売上高利益率は ExxonMobil の 8.4% に対し、Shell は 6.6%、BP 6.8% であり、BP の利益率は Shell を若干上回っている。

##### (3) 設備・探鉱投資

(図 <http://members3.jcom.home.ne.jp/maeda1/2-D-4-93hSuperMajorProfit2011.pdf> 参照)

3 社の設備投資額は ExxonMobil が 368 億ドルと最も多く、次いで BP が 315 億ドル、Shell は最も少ない 263 億ドルであった。3 社のうち BP は当期利益額を上回る設備投資を行っている。

#### 2. 2011 年の石油・天然ガス生産量の比較

(表 <http://members3.jcom.home.ne.jp/maeda1/2-D-4-93hSuperMajorProduction2011.pdf> 参照)

### (1)石油

3社の中で2011年の石油生産量が最も多かったのはExxonMobilで平均日産量は2,312千B/Dであった。これに次ぐのがBPの2,157千B/D、シェルは3社の中で最も少ない1,666千B/Dであり、BPはExxonMobilの9割、Shellは7割程度にとどまっている。Shellは石油生産部門が他の2社に比べてかなり劣っていると言える。同社の決算資料にはLNGの販売量として1,883万トン(年間)が示されており、このためShellは売上高でBPを上回る結果となっているようである。(BP、ExxonMobilもLNGを取り扱っていると考えられるが、具体的な数値がホームページの決算概要に示されていないのでLNGに関して3社を比較することはできない。)

### (2)天然ガス

3社の天然ガス生産量はExxonMobilが132億立法フィート/日(以下cfd、石油換算2,194千B/D)、Shell 90億cfd(同1,549千B/D)、BP 75億cfd(同1,297千B/D)であった。ExxonMobilは天然ガスの生産に力を入れており、前年比8.3%増加している。実は同社の石油生産は前年比-4.5%の減少を示しており、Shell及びBPの両社は石油、天然ガスのいずれもマイナス成長であった。

### (3)石油・天然ガスの合計生産量

(図 <http://members3.jcom.home.ne.jp/maeda1/2-D-4-93hSuperMajorProduction2011.pdf> 参照)

上記(2)の天然ガス生産量を石油に換算し、(1)の石油と合計した生産量で比較すると、合計生産量が最も多いのはExxonMobilの4,506千B/Dであり、これに次ぐのがBP(3,454千B/D)、Shellは3社の中では最も少ない3,215千B/Dであった。

各社の石油と天然ガスの比率はExxonMobilが51%対49%、Shellが52%対48%でほぼ同量であるのに対し、BPは石油68%、天然ガス38%であり同社は石油の比率が高い。

因みにBP統計(BP Statistical Review of World Energy 2011)による2010年の国別生産量とこれら3社を比較すると、ExxonMobilは世界第6位の中国(合計生産量5,739千B/D)と同7位ノルウェー(同3,970B/D)の間に位置しており、BP及びShellはカタール(世界10位)、アルジェリア(同11位)とほぼ同程度である。

## **3. 2007～2011年の売上・利益・設備投資の比較**

### (1)売上高の推移

(図 <http://members3.jcom.home.ne.jp/maeda1/2-D-4-93iExxonShellBpSales07-11.pdf> 参照)

ExxonMobilの2007～11年の5年間の売上高は4,046億ドル(07年)→4,774億ドル(08年)→3,106億ドル(09年)→3,832億ドル(10年)→4,864億ドル(11年)であった。またShellは3,558億ドル→4,584億ドル→2,782億ドル→3,681億ドル→4,702億ドル(11年)と推移し、BPの場合は2,844億ドル→3,611億ドル→2,393億ドル→2,971億ドル→3,755億ドルであった。

このように各社とも2007年から2008年にかけて売上が増加した後、2009年には急減していずれも2007年の水準を下回っている。そして2010年、2011年と2年連続して売上は急増し、2011年には3社とも過去最高の売上を記録した。5年間を通じて常にExxonMobilがトップを占め、続いてShell、BPと3社の順位に変化は無い。しかし2010年と2011年のExxonMobilとShellの売上高の差は4%程度であり、ShellはExxonMobilに肉迫している。BPは3社の中で常に売上が最も小さく、

ExxonMobil とは 1,000 億ドル前後開いたままである。

## (2)利益と売上高利益率の推移

(図 <http://members3.jcom.home.ne.jp/maeda1/2-D-4-93jExxonShellBpProfit07-11.pdf> 参照)

5年間を通じて ExxonMobil が毎年利益額がトップであり、2007年、2008年及び2011年には400億ドル台の年間利益を計上している。2007年の利益が313億ドルであった Shell は2年連続して急減し、2009年には2007年利益の半分以下(125億ドル)に低迷、BPにも追い抜かれた。しかし2010年(201億ドル)、2011年(309億ドル)と急回復し2007年の水準に戻った。BPは2007年から2008年にかけて毎年200億ドル前後の利益をコンスタントに計上し、3社の中では利益の振幅が最も小さかった。しかし2010年に同社はメキシコ湾で暴境事故を引き起こし一気に赤字(-37億ドル)に転落した。だが同社はわずか1年で事故から立ち直り2011年には過去最高の利益(257億ドル)を計上している。

5年間の売上高利益率の推移を見ると ExxonMobil は 10.0%(07年)→9.5%(08年)→6.2%(09年)→7.9%(10年)→8.4%(11年)と常に安定して5%以上の利益率を示している。一方、Shellの利益率は 8.8%(07年)→5.7%(08年)→4.5%(09年)→5.5%(10年)→6.6%(11年)と常に ExxonMobil を下回っているものの最近2年間は改善傾向にある。これに対し BP の場合は利益率の変動が激しい。同社の過去5年間の利益率は 7.3%(07年)→5.9%(08年)→6.9%(09年)→ -1.3%(10年)→6.8%(11年)であり、2009年には3社中で利益率が最も高かったが2010年には一転してマイナスに転じ、昨年(2011年)にはわずかではあるが Shell を上回った。

## (3)設備・探鉱投資の推移

(図 <http://members3.jcom.home.ne.jp/maeda1/2-D-4-93kExxonShellBpCapitalExp07-11.pdf> 参照)

ExxonMobil の投資額は 209 億ドル(07年)→261 億ドル(08年)→271 億ドル(09年)→322 億ドル(10年)→368 億ドル(11年)と過去5年間は常に前年を上回っている。これに対し Shell は 2007年 246 億ドル、2008年 351 億ドルと ExxonMobil を上回る投資を行ったが2009年以降は 265 億ドル(09年)→269 億ドル(10年)→263 億ドル(11年)と水平状態にあり、2011年には BP に追い抜かれている。BP の投資額は 2007年の 206 億ドルから2008年には100億ドル以上を上積みした 307 億ドルの投資を行っている。しかし2009年には再び2007年の水準に逆戻りした(203 億ドル)。その後2010年は 230 億ドルに上昇、2011年には Shell を抜いて 300 億ドルを超え過去5年間では最高を記録している。

## 4. 2007～2011年の石油・天然ガス生産量の比較

### (1)石油生産量の推移

(図 <http://members3.jcom.home.ne.jp/maeda1/2-D-4-93lExxonShellBpOilProd07-11.pdf> 参照)

2007年の石油生産量は ExxonMobil が最も多く 2,616 千 B/D であり、BP がこれに次ぐ 2,414 千 B/D、Shell は3社の中で最も少ない 1,899 千 B/D であった。この順位は2008年も変わらなかったが、この間 BP と ExxonMobil の差は縮まり、一方 BP と Shell の差は拡大した。そして2009年には BP の生産量が3社の中では最高の 2,535 千 B/D となり、ExxonMobil は 2,387 千 B/D、Shell は 1,680 千 B/D であった。Shell の生産量はトップの BP より 855 千 B/D も下回り、また ExxonMobil とは 707

千 B/D 少なかった。

2010 年には ExxonMobil の生産量が前年より増加したのに対し(2,422 千 B/D)、BP は対前年比で生産が減少したため(2,374 千 B/D)再び ExxonMobil が 3 社のトップとなった。2011 年は 3 社とも対前年比で減少し ExxonMobil 2,312 千 B/D、BP 2,157 千 B/D、Shell 1,666 千 B/D であった。

## (2)天然ガス生産量の推移

(図 <http://members3.jcom.home.ne.jp/maeda1/2-D-4-93mExxonShellBpGasProd07-11.pdf> 参照)

2007 年から 2009 年までの 3 年間は 3 社の天然ガスの生産量に大きな開きはなかった。即ちこの間の各社の生産量は、ExxonMobil が 9,384mcf(07 年)→9,095mcf(08 年)→9,273mcf(09 年)であり、Shell は 8,214mcf(07 年)→8,569mcf(08 年)→8,483mcf(09 年)、BP は 8,143mcf(07 年)→8,334mcf(08 年)→8,485mcf(09 年)であった。ExxonMobil は他の 2 社より 8~10 億 cfd 多く、Shell と BP は殆ど差がなかった。

しかし 2010 年には ExxonMobil のガス生産量は対前年比で 31%の大幅な伸びを示して 100 億 cfd を突破(12,148mcf)、2011 年も 8%増加して 132 億 cfd に達した。Shell の場合は 2010 年は対前年比で 10%増加した(9,305mcf)が 2011 年は 90 億 cfd に減少した。これに対し BP は 2010 年、2011 年と連続して減少し 2011 年の生産量は 75 億 cfd となり、ExxonMobil 及び Shell との差が開いた。ExxonMobil が積極的な M&A で生産増を図る一方、BP は 2010 年のメキシコ湾事故の対応に追われ天然ガス鉱区の売却を余儀なくされたためであり、3 社の明暗がくっきりと分かれたのである。

## (3)石油・天然ガス合計生産量の推移

(図 <http://members3.jcom.home.ne.jp/maeda1/2-D-4-93nExxonShellBpO+GProd07-11.pdf> 参照)

天然ガスを石油に換算し合計した生産量を見ると ExxonMobil は 2007 年及び 2008 年は 3 社のトップであった。2009 年にはわずかな差で首位の座を BP に譲ったが 2010 年、2011 年は再び 3 社のトップとなり他の 2 社との格差はむしろ拡大傾向にある(07 年 418 万 B/D→08 年 392 万 B/D→09 年 393 万 B/D→10 年 445 万 B/D→11 年 451 万 B/D)。Shell の過去 5 年間の生産量は 07 年 332 万 B/D→08 年 325 万 B/D→09 年 315 万 B/D→10 年 331 万 B/D→11 年 322 万 B/D であった。同社は 2007 年から 2009 年まで低落傾向にあり 2010 年には若干改善したものの 2011 年は再び減少しており、5 年前の 2007 年の水準まで回復していない。BP は 2007 年の 382 万 B/D から 3 年間連続して生産量がアップし 2009 年には 400 万 B/D 弱まで増加したものの、その後 2010 年には 2007 年と同水準の 382 万に減少、2011 年には更に対前年比 10%近く減少し 345 万 B/D と過去 5 年間で最低の水準にとどまっている。

(完)

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行      〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601  
Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642  
E-mail; maedat@r6.dion.ne.jp